

岩手復興ドラマの制作について

岩手県は、震災から現在までの復興の歩みを綴ったドラマを制作し、
県内外に向けて発信します。

■プロジェクトについて

震災の記憶を風化させず、復興への継続的な支援につなげるため、震災から現在までの復興の歩みを綴ったドラマを制作します。

本プロジェクトは、復興庁の被災者支援総合交付金を活用して実施するもので、被災された方々の心の復興を進めることを目的としています。

震災で被災された方々にも参画していただき、復興への更なる意欲の醸成につなげるとともに、東日本大震災の記憶を全国へ、世界へ、そして未来へとつないでいくよう、進めていきます。

■取組内容

(1) 制作作品数

2 作品（各 20 分程度）

(2) 制作スタッフ等

監修：高橋克彦（たかはしかつひこ）氏

脚本：道又力（みちまたつとむ）氏

遠野市出身。盛岡文士劇など脚本を多数手掛けるほか、岩手日報にて「文學の國いわて～輝ける郷土の作家たち」を連載（終了）。

監督：下山和也（しもやまかずや）氏

北海道出身。盛岡市在住。復興ドキュメンタリー映画「僕らはココで生きていく」を制作。全国 40 箇所以上で上映会を開催。

都鳥拓也（とどりたくや）氏・都鳥伸也（とどりしんや）氏

北上市出身、北上市在住の双子の兄弟。東日本大震災の現場で活躍した保健師たちを記録した「1000 年後の未来へ」などドキュメンタリー映画を手掛ける。

テーマソング：松本哲也（まつもとてつや）氏

出演：太田いず帆（おおたいずほ）さん（主役）、

刈屋真優（かりやまゆ）さん（主役）、

村上弘明（むらかみひろあき）氏（ストーリーテラー）ほか

※その他の出演者は一般公募し、県内の方々に広く参加していただきます。



■原作ストーリー及び出演者の一般公募

プロジェクトの実施にあたり多くの方に参加していただくよう、原作ストーリーと出演者を公募しました。

(1) 原作ストーリー

募集期間 8月13日(土)～9月20日(火)

応募作品数 58名75作品(うち県内在住者は53名)

(2) 出演者

募集期間 8月13日(土)～9月30日(金)

応募者数 202名(うち県内在住者は157名)

■脚本

原作ストーリーとして応募のあった75作品の中から、脚本の題材となるものを選出・調整し脚本を制作します。

(1) 第1話「日本一ちいさな本屋」

三陸町吉浜には昭和八年の三陸大津波で流されてきた巨石がある。津波の力を思い知った当時の村人は高台へ住まいを移した。そのため東日本大震災での被害は少なく吉浜は"奇跡の集落"と呼ばれた。だが、その石の存在は大震災が起きるまで忘れられていた。

悲劇を繰り返さないためには未来ある子供たちにこそ津波の恐さを伝えなければならぬ。これは手作り絵本を通じて大震災の記憶を語り継いでいこうと決めた、ある家族の物語である。

原作者：小松則也さん(大船渡市三陸町 58歳)

(2) 第2話「冬のホタル」

岩手県のとある港町に、東京から一人の若い女性がやって来た。彼女の名は中村美保。大震災の時、ボランティアとして数か月間この町で活動していた。その頃に交流を深めた床屋夫婦を訪ね近況を語り合う美保。店の前には不思議なお地蔵さんがあった。

頭をなでると望みが叶うというのである。店主に勧められ美保は頭をなでてみた。同じ日の夜、避難場所だった寺に人々が集まってきた。そこで美保は不思議な体験をすることに・・・。

原作者：佐々木俊夫さん(大船渡市大船渡町 62歳)

■一般公募の中から選ばれた主演者のプロフィール

第1話「日本一ちいさな本屋」主演

○太田いず帆（おおた いずほ）さん【宮古市出身、東京都在住 29歳】



【応募のきっかけ】

私は岩手県宮古市出身で、今は東京で役者を目指して活動しています。お盆の帰省中に、このドラマのキャスト募集の宣伝を知りました。

3.11 の時、私は東京にいたのですが宮古の家族が被災しました。幸い、家も家族も無事だったのですが、友人や知人には家や家族を失った方たちが多くいます。

私は震災後、何一つ故郷の力になれず、恩返しすることができないままだったので、ずっとやきもきした悔しい気持ちを抱いてきました。

そんな時、今回の震災復興プロジェクトを知り、またとない恩返しのチャンスがやってきたと思い、応募させていただきました。

【作品にかける意気込み】

私の名前は、岩手の海から名付けられました。本名です。大好きな海が、大切な地

元の人たちを、多くの方々を傷つけていきました。

地震や津波の恐ろしさ、被災された方々の思い、そして復興へと向かっている東北の今を、全国へ、後世へと伝えていきたい。まだまだ役者としても人間としても半人前ですが、みなさんの代弁者となれるように精一杯頑張ります。

【経歴】

○テレビ

2013年 CX「救命病棟 24 時」5th series

2013年 TBS「ぴんとこな」第8話

2015年 EX「遺留捜査」

2015年 CX「世にも奇妙な物語-25周年記念!秋の2週連続 SP- 映画監督編」

2016年 NHK「夏目漱石の妻」第4話

○映画

2013年 「押し入れ女の幸福」 *小田原映画祭 2015年にて最優秀俳優賞受賞

2014年 「チームバチスタ・ケルベロスの肖像」

2017年 「さくらになる」(公開予定)

第2話「冬のホタル」主演

○刈屋真優（かりや まゆ）さん【盛岡市出身、盛岡市在住 23歳】



【応募のきっかけ】

私自身は盛岡で生まれ、盛岡で育ちましたが、沿岸（宮古市）は小さい頃からよく行って、とても馴染みがある地域です。

私の親戚も被災し、家を流されました。父の知り合いを亡くしました。

震災から5年経過し、私自身も何か出来ないか思っていたときに、今回のドラマ制作の話を聞きました。

この出来事を風化させないように、ちゃんと語り継がれていくように、少しでも作品のお手伝いが出来ればと思って応募しました。

【作品にかける意気込み】

私はお芝居を今まで一切やった事がなく、未経験です。

何もかも手探りな状態ですが、実際に被災地を訪れた事がない全国の人達に

も何か感じてもらえるように、物語の主人公の気持ちを考えて、この役を一生懸命演じたいと思っています。みなさんの記憶に残るドラマになるように、頑張ります。

【出演実績他】

美人時計盛岡 モデル

ENJOY!岩手競馬ラウンドガール

クロステラス REAL STYLE BOOK モデル 他

■ドラマ出演者（俳優） ストーリーテラー



【村上弘明さん】ストーリーテラーとして特別出演

NHK大河ドラマ「炎(ほむら)立つ」、「腕におぼえあり」、「柳生十兵衛七番勝負」など、数々のドラマ・映画で主演を務める。

近年では、TBS連続ドラマ「ATARU」や大河ドラマ「八重の桜」、舞台「七変化 ねずみ小僧捕物帳」などに出演。

東日本大震災発生後、故郷陸前高田市をはじめ岩手県内の被災地をたびたび訪れ、被災者を励ます活動など幅広い分野で支援を続け、2014年7月から、岩手の魅力を発信する「いわて☆はまらいん特使」としても活動している。

特別出演

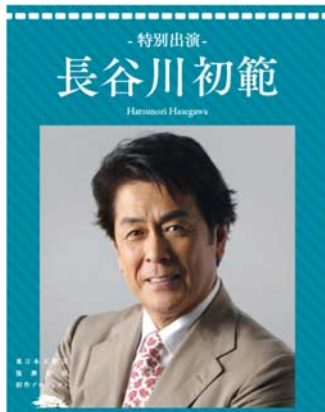


【藤田弓子さん】第1話「日本一ちいさな本屋」に出演

NHK連続テレビ小説「あしたこそ」、「さびしんぼう」など、数々の映画・ドラマに出演。

現在公開中の映画「オケ老人！」では、アマチュア・オーケストラのオーボエ奏者「マーサ」役で出演している。

今回のプロジェクトに賛同いただき出演が決定。



【長谷川初範さん】第2話「冬のホタル」に出演

映画「いのちの山河」、「TAKAMINE～アメリカに桜を咲かせた男～」などで主演するほか、数々の映画・ドラマ・TV番組に出演。

今年は映画「アルビノの木」「HIGH&LOW THE RED RAIN」に出演。来年には、映画「真白の恋」にも出演が決まっている。

今回のプロジェクトに賛同いただき出演が決定。



【古谷敏さん】第2話「冬のホタル」に出演

東宝映画の俳優の時、特撮テレビドラマ「ウルトラマン」のスーツアクターとして出演。「ウルトラセブン」では「アマギ隊員」役で出演。



今回のプロジェクトに賛同いただき出演が決定。

■今後のスケジュール

平成 28 年 12 月 撮影開始

平成 29 年 1 月 完成

平成 29 年 2 月 テレビ放送（岩手県内）

平成 29 年 3 月 県内上映会等の実施（6箇所）

岩手県公式動画チャンネルで公開

※プロジェクトの進捗状況は、随時特設サイトで公開します。

■エキストラの募集について

12月に県内での撮影を計画しており、改めてエキストラの募集を行います。

多くの方に参加いただくよう特設サイト等で告知を行います。

■東日本大震災復興動画制作プロジェクト特設サイト

<http://www.iwatefukkoudouga.jp/>